



ADRC Highlights

Vol.73

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

July 1, 2003

➤ 災害被害評価の共通手法開発ワークショップがオランダ・デルフト市で開催、ADRC が参加・発表

2003年5月23日、24日の2日間、オランダ・デルフト市において、EC共同研究センター(European Commission DG Joint Research Centre)ならびにオランダ・トゥエンテ大学(Universiteit Twente)共催による「災害被害評価の共通手法の開発ワークショップ」が開催されました。当ワークショップには、ECメンバー国や経済学関係者が一堂に会しました。

当ワークショップでは、次の3点について活発な意見交換がなされました。

- (1) 災害被害評価の共通のアプローチ手法を調査する
- (2) 災害被害評価の実績や手法を関係者間で利用できるような共通の場を提供する
- (3) 災害被害評価の領域におけるニーズと相乗効果、そして予想される効果を確認する

ADRCからは、吉村主任研究員がアジアにおける事例として、東海地震の被害想定についてプレゼンテーションを行いました。



なお、当ワークショップの詳細については、EC共同研究センターから近く報告書として取りまとめられる予定です(<http://nedies.jrc.it>)。お問い合わせは、吉村主任研究員(yoshimura@adrc.or.jp)まで。

➤ ADRC 客員研究員が山口大学で講演

2003年5月28日、ADRCに在籍するボロロマ・ボルク客員研究員(モンゴル)ならびにディリ・シワコティ客員研究員(ネパール)が、山口大学から招聘をうけて、災害に関する講演を行いました。

社会建築工学科がある山口大学では、今年2003年に東アジア国際コースが新たに創設されました。そのコースでは、将来アジア地域で活躍する専門家を養成することを目的に、学生たちが、最新建築技術や体系的防災管理、計画策案、人間と環境の調和を目指した環境工学など幅広く学習することができるようカリキュラムが組み立てられています。

そうした中で、このたびADRCでは、学術団体との知的交流をさらに推し進めるために、山口大学と研究開発分野で協

力しあうこととしました。その第一弾として、今回のADRC客員研究員2名による講演が行われました。

まず、矢代主任研究員によるADRCの目的や活動状況について説明がなされた後、モンゴル出身のボロロマ・ボルク客員研究員が「モンゴルの自然災害」について、続いてネパール出身のディリ・シワコティ客員研究員が「ネパールの災害と防災」についてそれぞれ講演を行いました。

この講演には、80名を超える学生が出席し、防災行政での経験に基づいた2人の話に熱心に耳を傾けていました。その後の質疑応答では、質問やコメントが多く出るなど、今回の大学訪問は、ADRC・山口大学双方にとって大変有益なものとなりました。

また、この協力プロジェクトの第二弾としては既に動いており、6月10-13日に神戸市で開催されたTDRMトレーニングプログラムに講師として、松田博福学長ほか山口大学教授の方々に、



出席していただきました。詳細につきましては、矢代主任研究員(yashi.ro@adrc.or.jp)までお問い合わせください。

➤ アジア最新災害情報

□ タジキスタンの洪水

2003年6月6日、激しい暴風と豪雨が、タジキスタンの首都ドゥシャンベから北200kmに位置するSughd Oblast地域一帯を襲いました。第一副緊急事態相は6月7日、OCHAに報告し、それを受けたOCHAは、現地の査察と対応を行うため、緊急査察調整チームを派遣しました。一番被害が大きかったのは、Penjikentやその周辺地区でした。

Penjikentでは、60家屋が全壊、59家屋が半壊し、橋4本、変圧器4機が被害を受けました。そしてまた、道路や運河、電線も影響を受けました。これまでに、死傷者3名、行方不明3名、被災者数1,500名となっています。(2003年6月8日OCHA Situation Reportより)

➤ お知らせ：ADRC職員の異動

6月30日をもちまして、ADRC管理課の田中園子職員が退職することになりました。田中職員には、1999年より長きにわたりADRCの管理・契約・会計業務の面で、多大な貢献をされました。なお、後任には渡邊トエが着任しています。

ご意見・ご要望等があれば右記までご連絡ください。

編集・発行： **Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)**
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F
 E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546
 誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)